

おもしろいね！が、きっとみつかる。

シニア世代の地域デビューを応援！  
～アッティーヴォ～

# attivo

みやシニア  
活動センター  
通信 vol.20

(平成27年4月発行)

宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業を活用しよう！

## 高齢者等地域活動支援ポイント事業てななに？

この事業は、介護保険事業として実施するもので、市社会福祉協議会（市総合福祉センター8階のボランティアセンターが窓口）が事前に認定した団体やグループが取り組む活動に、高齢者が参加した場合、その実績に応じて、市の施設利用券などに交換可能なポイントがもらえるものです。



ポイント事業に関する申請の様子。

ポイント事業は、まずは申請・認定から。

『思ったより簡単に申請できるようですね！』



その1 ポイント事業の登録申請をしてみました！

シルバーエイトマン

その2 ポイント事業開始で一層のやりがいアップ！

とまつりパトロール隊

その3 地域の安心・安全は公園から

清原台青葉公園愛護会

「attivo（アッティーヴォ）」とは、イタリア語で「活動的な、行動的な」という意味です。

## ① 地域活動支援ポイント事業の申請

取材：肥後特派員



【ポイント支援事業申請状況  
(ボランティアセンターにて)】

宇都宮市で『高齢者等地域活動支援ポイント事業』がスタートした。これは高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援するために、その活動実績に応じて、市の施設利用券などに交換可能なポイントがもらえる事業である。高齢者が参加し、市社会福祉協議会が事前に認定した団体などが対象となる。県内では、宇都宮市のほか、小山市、日光市で事業化されている。事業実施以来、270の団体、5,600人が登録されているとのことである。

今回、その事業に登録し、ボランティア活動を実践していこうとしているグループがある。

そのグループは、シルバー大学校中央校の35

期8班の17名(名称：シルバーエイトマン、代表者：五十嵐陽子さん)の仲良しの皆さんである。シルバーエイトマンの皆さんは、これまで個々に自分の仕事の関わりなどのほか、シルバー大学校のクラブ活動を通しアフリカンダンス、民謡、マジック等で老人ホーム等を訪問し、ボランティアに参加していた。今回、シルバー大学校に入学して知り合った17名で、何か社会に貢献できる事をやっと思いこうと思っていた矢先に、この事業を知ることとなった。ポイントについてはともかく、グループとして活動することに意義があるということになり、介護保険施設などでのボランティア活動などを行う「地域貢献活動」を行う団体として登録することとした。

申請の中で分かった事だが、登録団体の中に宇都宮市民以外の個人がいても登録ができ、宇都宮市の施設等でのボランティア参加できるが、宇都宮市民以外の人には、ポイントはつかない。シルバーエイトマンには、17名中4名が宇都宮市以外に在住しており、その人は、地元で参加すればという話も出たが、やはり全員で一つの目的に沿って動こうという事になった。また、1回の活動が概ね1時間以上の活動が対象になるとの事で、シルバーエイトマンではこれまで1時間半から2時間の活動をしており問題のない事が分かった。

申請については、申請書に名簿、活動実績、これからの活動計画を明記したものを添付する。シルバーエイトマンは、任意の団体ということで、会則、チラシ等はないが上記の添付のみでよかった。窓口では、大変親切に事業の在り方や申請書の書き方、ポイントについて教えて頂いた。

なお、この制度では、団体に1名ポイントシール管理者を決める必要がある。ポイントシールの管理と半年毎に配布状況報告書を提出する義務がある。また、団体を通して各個人にポイント台帳が配布され、活動状況に応じてポイントがもらえる。

シルバーエイトマンの皆さんには、今後の一層の活躍を期待したい。



【シルバーエイトマンの皆様】

## ② ポイント事業で一層のやりがいアップ

取材:古谷野特派員



【とまつりパトロール隊の皆様】

ここは、市内戸祭小学校のお昼休みの校庭、子供たちがボール遊びや縄跳び、そして追い駆けっこなど元気一杯に遊んでいます。そんな中、今日も「とまつりパトロール隊」の方たちが、昼休みの校庭のあちらこちらを巡回し、子供たちの安全を守っています。

「とまつりパトロール隊」の始まりは、平成17年の3月、子供たちの安全を脅かすような多くの事件に、心を痛めた現会長の中根淑夫さんが中心となり、有志の方たちと共に、学校の昼休みの子供たちの安全を守る他に例のないユニークな活動を開始、現在70歳から最高齢93歳の男性

9名女性23名の会員の方たちが、一班3～4名でローテーションを組み月曜から金曜まで元気に活動しています。

「宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業」には、事業開始後すぐに申請し、昨年12月に承認を受けました。この制度については、「大歓迎で活動の励みとなり、一層のやりがいを感じています」とのことです。

集めたポイントは、ボランティア活動ということ considering, 寄附（指定先への）という形で有効に活用する予定です。

活動を通して「先生や父兄からの感謝の言葉も嬉しいのですが、何よりも嬉しいのは、子供達から優しい言葉をかけられたときや元気で明るい挨拶をしてくれた時です」と巡回中の方が、話してくれました。



【パトロール隊の活動状況】

【戸祭小の生徒からのお礼の手紙】



活動は、子供たちの安全を守るという地域貢献と共に、子供たちパトロール隊、そして会員同士の交流、互いの安否や健康確認の場ともなっています。

「とまつりパトロール隊」のように活動可能な多くのシニア層の方が、市の「地域活動支援ポイント」を有効に活用して、社会に貢献出来る場を見つけて、「生きがい」「やりがい」を感じ、生き生きと活躍する方たちが、一人でも増えることを切に願うものです。



【青葉公園内の花壇の管理作業の様子】

平成 27 年 1 月中旬, 清原台青葉公園愛護会会長の宮澤さんにお会いすることができた。直接公園の現地を見ながらのほうがいいだろうということで, 取材は公民館前の公園内で行った。

まず, 愛護会の歴史について伺った。平成 14 年 3 月までは自治会でやっていた公園の清掃事業を, 自治会公園愛護会へ移管した。その後, 平成 16 年に青葉公園愛護会を設立(会長・宮澤邦雄氏)し, 同年 5 月から活動を開始する。平成 23 年度からは, 花壇の管理事業も自治会より委託される。

今は, 南公園(673 坪で花壇は子ども会の 1 面), 北公園(590 坪で花壇は 7 面)

及び中央公園(1040 坪で花壇は 1 面)の 3 公園を管理している。

ボランティア活動は, 一つには, 公園の改良である。具体的には, 園庭の砂地化, 公園の水のみ器周辺の整備, 樹木の間引き及び雨水流入や砂地流出の防止対策などである。

二つ目には, 定期的な管理業務の実施である。具体的には, 毎月 15 日に, 現会員 21 人(平均年齢 72 歳)が 1 時間位, 公園内及び外周の清掃, 花壇の除草, 園庭砂地の除草と境界の芝きり, 公民館周りの清掃, 除草。公園内の低木の剪定, 遊具の点検などを行っている。

会員の皆さんは, 「だんだんと顔見知りになってくると共に仲間になって, 愉しく活動している」など色々な思いでやられており, また, 地域の住民からは「いつもきれいになっていてうれしい!」と喜ばれ, やりがいと感じているということです。

今回のポイント事業については, 会員にその趣旨を説明するとともに, 活動に参加すればポイントがたまると周知しています。

会員からは, ポイントがたまるのが励みになり, 一生懸命やろうという気持ちが出てくるとの声などが出ていますとのことでした。

最後に, 宮澤さん達の長年のご尽力に敬意を表したいと思います。



【公園愛護会長の宮澤さん】

《事務局からのお願い》

- 「みやシニア活動センター通信」をご覧になった, ご意見・ご感想をお聞かせください。今後の参考とさせていただきます。
- 地域で活躍するシニア世代の方の情報がありましたら, みやシニア活動センターまでお知らせください。
- ご意見・ご感想・シニア特派員等に関するお問合わせは, 下記までお願いいたします。



○ 発行／編集 みやシニア活動センター(宇都宮市 保健福祉部 高齢福祉課)

住所: 宇都宮市中央 1 丁目 1-15 宇都宮市総合福祉センター 8 階

電話: 028-639-8585 ファクス: 028-639-8575

ホームページ: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp>